



2026年4月3日

東急田園都市線 列車衝突事故を踏まえた緊急点検の結果（中間報告）

2025年10月5日に東急電鉄田園都市線で発生した信号システムの条件設定不備による列車衝突事故を受けて、北海道運輸局から同種箇所への緊急点検の指示がありました。当社では設定図面上における確認を行い、その後、追加的に現地調査を行っておりますが、2026年3月31日現在における点検結果をお知らせします。

1. 調査対象駅数と調査方法

調査対象箇所は、信号場を含む全連動駅243駅（新幹線5駅、在来線238駅）を以下のステップで調査しています。

- ① 設定図面による確認 : 2025年11月7日完了
- ② 現地測量 : 2026年第1四半期を目途に完了

※2025年12月2日のプレスでは、現地測量完了の目途を2026年9月末としていましたが、雪解けが早く進み順調に測定を実施していることから、2026年第1四半期までに完了する見込みとなりました。

2. 現地測量の進捗状況と結果（2026年3月31日時点）

現地測量は、2026年3月31日までに219駅（新幹線5駅、在来線214駅）完了しており、2025年12月2日にプレスした千歳線島松駅のほか、新たに函館線白石駅の不備を確認しています。なお、白石駅においては、快速エアポートなど通常の旅客列車の走行時には問題がなく、不定期に貨物列車等が隣接する札幌貨物ターミナルに進入する進路を走行する際に支障する箇所がありました。また、島松駅、白石駅ともに設備改修を完了しております。

- ① 不備を確認した駅 : 2駅（千歳線島松駅12/19改修済 函館線白石駅2/27改修済）
- ② 現地測量未了駅 : 24駅（全て在来線駅）

3. 今後について

在来線の残り24駅について、現地設備の確認を2026年度第1四半期までに実施予定です。同様の箇所を確認した場合は、速やかに措置を講じます。